



郵便  
**報知新聞**  
 第五百五十一号

大坂船越町不骨操と業とを松本  
 何と呼ぶ婦人あり年猶廿六才なるが  
 日頃より柔術も長なり其妍よ  
 きを以て人其勇を知るもの近き  
 頃隣家の娘と連れて長柄川の  
 堤と通りしに川風来さむるれ  
 時四人の荒男躍り出でまゐり  
 隣の娘とを二人づゝと取むる  
 強淫あらんと爲せしむらば何ん  
 大に怒りし組付る一人を水中  
 投ぎ又一人と撞き隣の娘と押  
 臥せ上りまゝ一人の領髪とつて  
 槍倒し拳を堅めて人の眼の辺を  
 打たれ何とも恐ま逃散るる

とねる因縁誌



庄錦昇堂

彫工銀

大坂船越町

